

vol.85

July 2018

学校法人常磐大学 広報誌 TOKIWA POST [トポス]

TOPOS

[特集]

常磐大学看護学部開設記念式典



未来の地域医療に貢献する 看護のプロフェッショナルを目指して



ご祝辞をいただいたご来賓の方々



茨城県知事大井川和彦様御名代
茨城県保健福祉部次長兼医療局長
吉添裕明 様



独立行政法人国立病院機構
水戸医療センター院長
山口高史 様

新緑が輝く5月19日、常磐大学見和キャンパスにて「常磐大学看護学部開設記念式典」が挙行されました。式典・講演会・祝賀会を合わせて、ご来賓約60名、看護学部1期生95名、教職員60名が出席しました。

森征一理事長からは、看護学部開設に係る関係各所からのご理解ご協力への謝辞が伝えられ、皆さまのご期待に応えられるよう時代の要求に的確に対応できる人間性豊かな医療人の育成に努力していくと決意が述べられました。

ご臨席のご来賓を代表して、茨城県保健福祉部次長兼医療局長の吉添裕明様よりご祝辞をいただきました。茨城県では、医師・看護師等の医療従事者の確保は最重要課題と捉えており、茨城型地域包括ケアを担う人材として、本学卒業生が地域に定着する看護職者となるよう期待が述べられました。続いて、連携先の国立病院機構水戸医療センターの山口高史院長からは、「臨地実習においては、水戸医療センターの医師や看護師

学生代表挨拶



看護学部看護学科1年
田上仁香

が教育に携わることになるが、当院の教育環境を生かし最大限にサポートすることをお約束する」と心強いお言葉をいただきました。

看護学部1期生を代表して登壇した田上仁香さんからは、「看護学という立場から、さまざまな健康レベルにある人々に向き合い、生まれ育った茨城県に、さらには国内外の多くの人々に貢献できるような看護職者になれるよう研鑽してまいります」と頼もしい誓いの言葉が聞かれました。

常磐大学看護学部は、地域に根ざした学びと水戸医療センターをはじめとする県内国立病院機構3施設との連携による充実した実習環境が整っていることが特徴です。すでに1年生は、医療現場で行う臨地実習をスタートし、未来に向かって踏み出しています。常磐大学看護学部は、変わりゆく社会を見据えて看護という仕事を創造し、人々がより良く健康に生きられる社会の実現を目指し、大きな一歩を歩み出しました。

拡大する看護の役割



秋山正子氏
(株)ケアーズ
白十字訪問看護ステーション統括所長
暮らしの保健室室長
マギーズ東京センター長

新たな第一歩を歩み出した常磐大学看護学部と1期生に向けて、訪問看護の第一人者であり、地域包括ケアの実現に取り組む秋山正子氏より、これから期待される看護が果たすべき役割についてお話しいただきました。

予防から看取りまで、生と死に向き合う仕事

私が訪問看護師になったのは、末期がんの実姉を看取ったことがきっかけでした。41歳で余命宣告された姉は自宅での療養を選び、子どもたちに囲まれながら残された時間を生き抜き、自宅で息を引き取りました。“患者として”ではなく、母として妻として最期を迎えた姉の死から、これからは看護師として、病院の中ではなく、暮らしの中での療養を手助けしたいと考えるようになり、1992年から訪問看護に従事するようになりました。現在は会社組織を立ち上げ、訪問看護ステーションで統括所長を務めています。そして、高齢者、難病や精神疾患を抱える人、障害のある人などが、住み慣れた地域で家族や友人に囲まれて療養や治療ができるよう、さまざまな支援活動や事業を展開しています。

2011年には、新宿区の高齢化率53%超の巨大団地近くで「暮らしの保健室」を開設しました。住み慣れた地域で最期を迎えられる社会を創出するには、病気が寝たきりになる前段階の予防が不可欠です。ここは学校の保健室と同じように、地域の人が健康面や介護で困ったとき、気軽に相談できる保健室です。医師、看護師、ヘルパー、ケアマネージャー、薬剤師、行政職員、ボランティアが集まり、地域で暮らす高齢者の心身ケアや社会生活のサポートにあたっています。また、2015年には「坂町ミモザの家」を開きました。ここは地域の人のふれあいの場であり、訪問看護や介護サービスで高齢者の自立生活を支援し、時には泊まることもできる地域密着の「家」です。そして2016年には、念願だった「マギーズ東京センター」を設立し、看護師や保健師、心理療法士が、がんを宣告された人や家族の相談に無料で応じる拠点をつくりました。



地域包括ケアで中心的役割を担う看護職者

このように私は訪問看護師としてスタートしてから、地域や人に合わせてさまざまな形で「地域包括ケア」を実現する場所と仕組みをつくってきました。「地域包括ケア」とは、高齢者や身体が不自由な人が住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最期まで続けられるよう医療・介護・行政・地域社会が連携する仕組み。この中で、キーマンとなるのが看護師なのです。患者さんの身近に寄り添う看護師は、心身の症状をよく知り、専門的に把握できる存在です。患者さんの状況や希望に合わせて、医師や薬剤師、管理栄養士、理学療法士などをつなぎ、予防・治療・回復・看取りまで視野に入れたケアを実践する役割を担っています。

皆さんが活躍する時代は、看護の仕事は新たな発展を遂げていきます。看護師が活躍する場はますます広がり、多様な人と関わりながら最善のケアを実現していく役割が求められます。看護職を志す皆さんは、常磐大学看護学部において専門知識や技能の習得はもちろんのこと、一人の人間として大きく成長し、視野を広げてほしいと思います。皆さんの成長が、未来の地域医療の発展につながるものと期待しています。(講演要約)

講演では、秋山氏が担当された104歳の男性の自宅での医療と看護の連携の実際、「暮らしの保健室」で支援した78歳のがん患者と家族の事例を交えながら、看護の果たす役割の大きさが切々と語られました。患者さんと家族、地域のために邁進する看護師の大先輩、秋山氏の活動に勇気づけられ、常磐大学看護学部1期生は学びへの決意を新たにしました。

祝賀会》

式典・講演会后、T棟学生ホールに場所を移して祝賀会を開催しました。ご来賓の方々をはじめ、学生、教職員が集い、看護職育成の未来を語り合うなど今後に向けて交流を深めることができました。



「看護学部紹介」
坂間伊津美 教授



談笑する看護学部男子学生



茨城町町長
小林宣夫 様



学校法人常磐大学参与
小松美穂子 様

常磐大学
高等学校

高校生活という人生の成長期に 考え続け、挑み続ける力を身につけよう

柴田幸義 校長
常磐大学高等学校校長
2018年4月就任



坂本愛博 (3年生)
生徒会長

校長 > 私が皆さんに身につけてほしいのは「考え続け、挑み続ける」力です。ときわ祭やクラスマッチなどの学校行事は、学校側が主体となって運営する部分が大きいのと思いますが、坂本くんのような自分で考えて行動できる生徒が生徒会長になったことで、生徒たちが知恵と力を合わせてつくりあげる行事に進化していきだろうと期待しています。

坂本 > 6月に開催されるときわ祭は、僕たちの実行力を示すチャンスだと考え、生徒一丸となって取り組んでいます。僕の代から生徒の意見を表明する場として、生徒総会の開催や意見箱の設置をしました。「こんな高校生活にしたい」「自分はこれがやりたい」という思いは生徒一人ひとりが胸の内に秘めているはず。その思いを結集して、僕たちの高校生活をもっと充実したものになりたいと考えています。



校長 > 自分たちの意見を表明することで、改めて今の自分たちに何が足りないのかを実感することもあると思います。これこそが皆さんが成長する契機になる。大きく成長するには自分の考えを押し通すだけでなく、人の意見から学び、真剣に考え、最後は行動を起こすことが大切です。皆さんは、建学の精神「実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる」にある“実学”の部分、今まさに学んでいるのです。

坂本 > 建学の精神は、高校生活について思い巡らすときに常に頭にありました。入学以来、勉強に打ち込んできましたが、それだけにとどまらず、高校生活で何か行動を起こしてみたいと考えていました。そんなとき、先生に「生徒会をやってみないか」と声をかけていただき、一步を踏み出したのです。

校長 > 私たち教員は、皆さんが高校生活という人生の成長期において「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」をバランスよく伸ばしてほしいと考えています。そのためには、私たち教員が生徒一人ひとりをよく理解する必要があり、生徒のもつポテンシャルを引き出すことが私たち教員の役割です。本校では、勉強、運動、課外活動と生徒



が挑戦してみたいことに自由に組みこめる環境を整えています。数ある可能性の中から、打ち込めることを見つけ、自分の力を伸ばしてほしいと思います。自分の興味や得意なことから始まる学びは、これからの人生を生きる上で皆さんの強みとなっていくことでしょう。



柴田校長の
座右の銘

「 継続は力なり 」

私自身、学生時代からマラソンに熱中してきました。その経験から、人生や仕事もゴールを意識して取り組んできました。ゴールの自分の姿を想像すると、今何をすべきかが明確になり、継続する力が湧いてきます。

智学館
中等
教育学校

自分を知り、豊かな人生を思い描く6年間
今日の挑戦が未来の自分につながる

小櫃重秀 校長
智学館中等教育学校校長
2018年4月就任

西村敏喜 (4年次生)
硬式テニス部所属
水戸地区 シングルス優勝

大澤朋恵 (4年次生)
空手同好会所属 初段

校長 智学館での6年間は、皆さんが自分の得意なことや興味にじっくり向き合い、人生を切り開く力を養う時間です。さらに本校の良さは幅広い年齢の生徒が交流し、学び合えること。学校行事や課外活動は13歳から18歳まで全校生徒が一つになって取り組みます。兄弟のように近い存在から学び合う関係は、生徒と教員の間とはまた違った学びがあると考えています。

西村 僕は硬式テニス部にいますが、技術だけではなく統率力やコミュニケーション力、礼儀作法など先輩方から多くを学びました。4年次になって後輩を指導していく立場になって、そのすごさが改めてわかりました。僕も先輩のようになり、後輩を導いていける人になりたいと考えています。



校長 成長期の真っ只中にいる皆さんは、悩んだり、考え込んだりすることもこれから多く経験すると思います。本校では6年間

毎日、生徒と教員の間で記録ノート(パーソナルレコード)をやりとりします。また、私も生徒全員と面談します。将来の夢や好きなこと、悩みなど自由に話してもらう場。皆さんの可能性を最大限引き出してあげたいと考えています。

大澤 私は校長先生に記録ノートを読んでもらっていただき、励ましの言葉をいただきました！私の目標は、智学館カップで応援団長を務めること。生徒をまとめるにはどうリーダーシップを発揮したらいいか、どう自分が変わらないといけないのか。先輩の経験を聞いたり、先生方にアドバイスをいただいたりしながら準備を進めています。



校長 学校でのさまざまな経験を通じて、自分で考えて動くことができる人間になってくれたらと考えています。それが変化の激しい時代をたくましく生き抜く力につながります。ここでの6年間は「今生きている



この世界を知り、その中で自分を知り、自分自身の豊かな人生を思い描き、それに向かって努力する人間になる」ための学びの時間。大切なのは、自分なりの答えを見つけ、それに向かって努力することです。私たちは、生徒一人ひとりに向き合い、そのチャレンジを全力で応援していきます。



小櫃校長の座右の銘 「ひたむきに生きる」

かつて私が高校生だった頃から、自分を鼓舞してきた言葉です。高校時代は勉強漬けだったことを少し後悔しています。自分の好きなこと、興味があることに、ひたむきに取り組んでみてください。必ず新しい世界が開かれます。



国際学部経営学科3年生が京成百貨店で 産学連携の商品販売促進イベントを開催!

1月6日・7日、国際学部経営学科の3年生が水戸京成百貨店で産学連携の商品販売促進イベントを行いました。「ビジネス専門実習」の授業の一環で、昨年4月から企画立案や百貨店担当者へのプレゼンテーションを実施してきました。イベントの目的は、企業の利益構造(ビジネスモデル)の理解を深め、分析力・判断力・企画力・創造力を養うこと。企業利益を考慮し、売上に貢献することも課題の一つです。今回、学生が実行したイベントは、生活雑貨店でアロマを使ったバスボムづくりが体験できる「京成DEアロマ」、おもちゃ売り場で子どもたちに食品由来のクレヨンを紹介する「ぬりえのすいぞくかん」。京成百貨店の各売り場の担当者の協力のもと、3年生が中心となり、昨年経験した4年生たちもサポートに加わってイベントは成功を収めました。

京成百貨店での取り組みの詳細は、「ビジネス専門実習」の授業の成果をまとめた『2017年度 ビジネス専門実習報告書』の商業・マーケティング分野に掲載されています。この冊子には、ほかにも経営・マネジメント分野、財務・会計分野における学生たちの学びのプロセスと成果が掲載されています。報告書に興味のある方はアドミッションセンターまでお問い合わせください。



News and Topics

学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。

そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらず

さらなる広がりを見せています。

ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。



「道の駅ひたちおおたプロジェクト」が 「道の駅と大学連携成果発表交流会」に参加

3月13日、埼玉県さいたま新都心合同庁舎で開催された「平成29年度道の駅と大学連携成果発表交流会」に「常磐大学 道の駅ひたちおおたプロジェクト」(人間科学部健康栄養学科 大道一弘助教)の人間科学部現代社会学科1年生鈴木優芽さん、播田実ちひろさん、立原遥さんが参加しました。交流会には、国土交通省関東地方整備局管内の道の駅と連携活動を行う大学・短大など11校が参加。鈴木さん、播田実さんは、本学が加盟する「いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム」と「道の駅ひたちおおた」との1年間の連携活動の成果を茨城大学の学生とともに報告しました。立原さんは「いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム」の代表者として、茨城大学の学生と登壇し、1年間の活動での経験や今後の課題について発表しました。



2017年度秋 Semester における 学長賞および学長奨励賞の授与式を挙行

3月16日、2017年度秋 Semester 学長賞および学長奨励賞の授与式が執り行われました。その他の活動等(図書館サポーター活動)において本学の名を高めた1団体、学業成績最優秀者および優秀者の計10名が受賞。富田信穂学長より賞状と副賞が手渡され、1年間の成果が讃えられました。





常磐大学教職センター 創設記念シンポジウムで 地域の教育を担う教員の育成を語り合う

2月17日、常磐大学教職センター創設記念シンポジウムが開催されました。テーマは「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上を目指して」。パネリストにお招きしたのは、教育関連機関の方々や企業の人事担当者、本学を卒業した現役教員など、地域教育の最前線で活躍する5名の方々。それぞれの立場から地域の教育課題や取り組みを報告し、必要とされる教員の資質や能力についてお話しいただきました。また、来賓としてお招きした茨城県教育委員会・教育長の柴原宏一氏からは、ご自身の経験から教員という仕事のやりがいを語られ、ICT導入などで変わりゆく教育環境についても言及されました。コーディネーターを務めた常磐大学教職センター長の稲葉節生特任教授(人間科学部教育学科)は、求められる人材として、①学び続け成長できる人、②コミュニケーション能力を備えた人、③柔軟性に富んだ人を挙げ、これからの地域教育を担う学生たちに期待を寄せました。茨城県の教育環境の実態と、今後の人材教育の課題を浮き彫りにした今回のシンポジウムは、常磐大学教職センターが目指すべき方向性を考える貴重な機会となりました。



沖縄の文化と歴史に触れる修学旅行と 大学見学&ミュージカル鑑賞で、感動体験

3月6日～13日にかけて、2年生は修学旅行で沖縄を訪れました。本校初となる3隊編成でしたが、無事に全行程を終えることができました。生徒たちは沖縄の文化見学や平和学習を通して、多くの経験をすることができました。修学旅行での学びをぜひ今後に生かしてほしいと思います。一方、1年生は3月8日、大学見学とミュージカル鑑賞を行いました。午前中は各クラスで決めた大学を訪問。憧れのキャンパスで研究施設を見学したり、学食で昼食をとったりしながら、将来に向けてよい刺激を受けた様子でした。午後は夕留の電通四季劇場「海」にて、劇団四季ミュージカル『アラジン』を観劇しました。大迫力の音響、キャストさんたちの素晴らしい演技、そして絶妙なやりとりに生徒たちの目は釘づけ。感動と笑いに満ちた充実の1日となりました。



老人ホームでボランティア活動 ダンス部が笑顔いっぱいのダンスを披露

4月21日、本校ダンス部は特別養護老人ホーム「ヴィレッジみと」(水戸市小吹町)を訪問し、常磐大学高等学校ダンス部とともに合同ダンス発表と交流会を行いました。本校ダンス部にとって初めての校外発表でしたが、笑顔で力いっぱいダンスを踊ることができました。舞台をご覧いただいた方々からは「楽しかった」「また来てほしい」とのお声をいただきました。その後の施設利用者の方々との交流会では、本校の生徒会メンバーや有志ボランティアも加わり、貼り絵や折り紙のお手伝いをしながら、学校生活や家庭でのエピソードなどさまざまな話題で盛り上がっていました。ともに活動に臨んだ常磐大学高等学校ダンス部の生徒たちとも、新たな友情が芽生えたようです。



水戸市立常磐小学校での“幼小交流会”で 小学校入学への夢を膨らませる

1月17日、年長組は、水戸市立常磐小学校の1年生のお兄さん・お姉さんたちとの交流会に出かけました。小学校の先生をはじめ、児童の皆さんから歓迎の言葉をいただき、温かく迎えられた園児たち。最初はちょっぴり緊張していた様子ですが、ランドセルを背負わせてもらったり、国語の教科書に掲載されている『くじらぐも』の音読を聞かせてもらったり、一緒に製作活動をしたりするうちに笑顔いっぱい。「お兄さんお姉さんたちのような素敵な1年生になりたい!」と目をキラキラと輝かせていました。また、校長先生と“校内探検”に繰り出し、上級生たちの授業の様子や図書室や保健室などいろいろな教室を見せていただき、小学生になるのがさらに待ち遠しくなった年長さんたちでした。常磐小学校の1年生の皆さん、先生方、本当にありがとうございました!





「噛むかむレシピコンテスト」で 健康栄養学科2年生のアイデアレシピが入賞

公益社団法人茨城県歯科医師会主催「第7回 噛むかむレシピコンテスト・一般の部」で人間科学部健康栄養学科2年の高橋加奈さんが「噛むかむレシピ賞」を受賞。2月25日水戸プラザホテルで表彰式が行われました。このコンテストは健康栄養学科の「応用栄養学実習」の授業と連動し、毎年学生がアイデアレシピを提案しています。今年のテーマは「小松菜」で産地消費も重視。105品もの応募から高橋さんの「小松菜ロールの噛みかみあんかけ」が選ばれました。小松菜をゴボウやレンコンなど歯ごたえのいい食材と合わせ、茨城県産の豚肉ローズポークで巻いた一品。高橋さんは「噛むこととおいしさを同時に楽しめるメニューを考えました。将来は行政栄養士になり、生活習慣病予防に効果がある食の大切さを伝えていきたい」と受賞の喜びを語りました。



夜の観梅イベント「夜・梅・祭 2018」で 常磐大生による「夜梅おみくじ」が完売御礼!

3月10日、偕楽園で開かれた「夜・梅・祭 2018」(水戸の梅まつり実行委員会主催)で、TSSボランティア TRICOLORの学生が「夜梅おみくじ」の販売を行いました。今年で7回目の参加で、企画・制作から販売まで学生たちが行うもの。今年はおみくじに水引のストラップや梅模様の缶バッジを付けて900セットを販売。前年度とおみくじの引き方を変えたことで販売がスムーズになり、2時間半ほどで完売しました。参加した国際学部経営学科2年の三浦遼さんは「みんなで協力して一つのことを成し遂げる大切さを学びました。この経験を生かし、地域の活性化に貢献するさまざまな活動に取り組んでいきたいです」と語りました。



期待に胸を膨らませた新入生に向けて、 「部活動紹介」で先輩から熱烈アピール

4月11日、運動部18団体、文化部12団体、同好会5団体、応援団・チアの36団体が恒例の部活動紹介を行いました。本校の部活動紹介は、全校生徒が体育館に集まり、大いに盛り上がる名物行事。各部・同好会のメンバーがそれぞれの部活動の良さ、特色、雰囲気を入生に伝えるために、さまざまな趣向を凝らし、懸命にアピールしていました。笑いあり、サプライズあり、それぞれが見ごたえのある素晴らしいものでした。新入生は楽しみながらも、先輩たちの話に真剣に耳を傾けていました。本校の部活動加入率もさらに上昇することが期待できそうです。



幼児教育保育学科の卒業生が集合! 旧交を温めるホームカミングデー開催

2月18日、学生ホールにおいて短期大学幼児教育保育学科2015年度、2016年度卒業生を対象としたホームカミングデーを開催しました。李精副学長、福田洋子学科長の挨拶の後、幼児教育保育学科の教員と卒業生が懇談。それぞれの近況を報告し、先生に仕事の悩みを相談する場面も見られました。スクリーンに学生時代の写真が映し出されると歓声が上がります。最後に行なったじゃんけん大会も大盛り上がり。今後の活躍を祈り、名残を惜しむつつの閉会となりました。



オーストラリアのマコーリー大学を拠点に 特進選抜コース1年生が海外研修を満喫

3月19日～30日、特進選抜コース1年生がオーストラリアで語学研修を行いました。語学研修に加え、現地訪問校でのプレゼンテーション、博物館見学や現地の日本企業訪問を含む充実したプログラム。アボリジニ文化やオーストラリアの自然環境についても学びました。現地高校生約1000人を前に行った日本文化のプレゼンテーションは大成功を収め、発表後のアクティビティでは多くの現地高校生が参加してくれました。今回の研修を通して、生徒は多くの困難を乗り越え、大きく成長してくれました。生徒各自が研修を振り返り、今後の学校生活に生かしてくれることを期待します。



平成29年度全国高等学校新体操選抜大会で 個人総合10位の快挙! 今後の活躍も注目

3月23日～25日、福島県営あづま総合体育館で全国高等学校新体操選抜大会が開催されました。本校からは滑川美空さん(2年生)が出場し、個人総合10位入賞の好成績を挙げました。インターハイ・国体に向けても注目が集まる選手で、今後の活躍がとても期待されます。滑川さんは「選抜大会に向けて、ほぼ毎日練習に打ち込みました。最後まで諦めなかったことが結果につながったと思います。今後も見ている人の心を動かす演技ができるように努力します」と入賞の喜びを語りました。





水戸地区ナンバーワン！硬式テニス部が 団体とシングルスでダブル優勝の快挙！

硬式テニス部が4月20日～22日に開催された「平成30年度関東高等学校テニス大会 水戸地区予選」の男子団体が優勝しました。男子シングルスでは4年次生が優勝と5位、男子ダブルスで準優勝という素晴らしい成果を残し、今年度の大会も幸先のよいスタートを切ることができました。今回の大会では多くの上級生が参加する中、4年次生が快挙を成し遂げ、生徒たちの励みになったことでしょう。今後もさらなる高みを目指し、頑張っていきます。



合唱コンクールで素晴らしい歌声を披露 クラスの絆が深まりました

3月10日、本校WEST GYMにおいて「合唱コンクール」を開催しました。前期課程生が合唱を披露し、先生方と後期課程生が審査を行いました。どの生徒も日頃の練習成果を十二分に発揮し、素晴らしい歌声を披露できました。最優秀賞は2年次1組、指揮者賞は3年次、伴奏者賞は1年次1組が受賞し、表彰式では会場から惜みない拍手が送られました。今回の合唱コンクールを通して、仲間たちとの絆をさらに深めることができました。



中国・北京王府学校の小中学生と 歌やパフォーマンスで国際交流の1日

1月26日、本校に中国の北京王府学校(Beijing Royal School)から小中学生31名が来校し、本校生徒と交流しました。歓迎セレモニーでは、智学館からは合唱部やダンス部、空手部などのパフォーマンスを披露。日頃の成果を堂々と発表することができました。王府学校からは日本語・中国語・英語の3カ国語での歌や、『悟空』をテーマとした踊り、『明月几時有』の合唱が披露され、本校生徒たちを魅了しました。その後は、本校自慢の美味しいランチと一緒に食べました。食事中は生徒同士が英語で楽しそうに語り合っていました。同世代の人たちとの国際交流は、新しい考え方や違ったものの見方を学べる貴重な機会です。智学館では、今後も積極的に国際交流の機会をつくっていきます。



水戸芸術館の「プレスクールプログラム」で 子どもたちが現代アートと出会う

1月16日、年長組が園バスに乗って水戸芸術館まで行き、「プレスクールプログラム」に参加しました。館内を見学し、職員の方に館内の展示作品をわかりやすく説明していただきました。デイヴィッド・シュリグリーの個展「ルーズ・ユア・マインドーようこそダークなせかいへ」では、不思議な世界観に触れ、作品からたくさんインスピレーションを受けた子どもたち。その後のワークショップでは、いつもとは違った大胆な色使いやユーモアあふれる作品を一人ひとり夢中になってつくっていました。



交通安全教室で交通ルールをお勉強 いのちの大切さを学びました

1月29日、水戸警察署の方が2名来園し、交通安全・交通ルール、横断歩道の正しい渡り方を教えてくださいました。なんとお友達の“ケンちゃん”も一緒に、腹話術でおしゃべりを披露してくれました。署員さんから、一番大切なものは「いのち」というお話を聞き、ケンちゃんと子どもたちは交通ルールを守ることの大切さを学びました。園内では、模型の信号機を設置し、横断歩道の渡り方を練習。子どもたちは教わったことをしっかりと守り、右手を高く上げ、右・左・右の確認をして、安全に渡ることができました。「自分のいのちは自分で守る」、今日の学びをみんなが生涯忘れずに生活をしていけることを願っています。



小学校の日は「かるたとり大会」 手づくりかるたに大興奮！

2月22日は小学校の日。待ち遠しい小学校へとつながる楽しい活動日に、かるたとり大会に挑戦しました。一人ひとりに文字が割り振られ、自分で文章を考え、その読み札にあった絵をかるた札に描きました。子どもたちならではのユーモアあふれるかるた札が次々完成！遊戯室いっぱいに、カラフルな手づくりかるたが広げられました。かるたとりが始まると、読み上げられた札をめがけて子どもたちは一斉にダッシュ、目を皿のようにしてかるたを探しました。大会終了後は、「また、かるたとり大会をやりたい！」と目をキラキラと輝かせていました。





Eye on Faculty

研究を進める先生に注目!

常磐大学・常磐短期大学に在籍する多くの教員。
講義担当としてはもちろん、さまざまな専門分野の研究にも携わっています。
そんな学内外で指導、研究を続けている教員の魅力に迫ります。



発達のメカニズムを解明し、 学習障害児の教育に生かす。

読み書きに関する発達メカニズムを解明し、学習障害児の教育に応用する研究に取り組む室谷直子教授。短期大学の幼児教育保育学科では、保育士や幼稚園教諭を目指す学生に障害児心理学や支援の方法を教え、地域では学習障害児を担任する教員の支援活動にも取り組んでいます。その幅広い活動を支えるのは、障害のある子どもたちに役立つ研究者であろうとする真摯な思い。保育者の養成、教育現場の支援、そして研究者として活躍する室谷教授に障害児教育のあり方と研究内容についてお聞きしました。



室谷直子 教授
常磐短期大学 幼児教育保育学科
専門: 障害児心理学

筑波大学大学院博士課程心身障害学専攻科修了
所属学会は、日本特殊教育学会、日本LD学会、日本教育心理学会

Eye on Books

大学・短期大学の教員が執筆・編集したさまざまな分野の書籍をご紹介します。

ショパン夜想曲全集

ショパンの喜怒哀楽を歌う、
ショパン夜想曲(全21曲)解説

人間科学部 教授 岡部玲子



岡部玲子 解説 2017年12月
INTERPRET

倉本卓演奏のCD「ショパン夜想曲全集」(2枚組)の解説書です。曲の理解を深め楽しむために、全21曲を分析し、演奏の聴きどころや特徴などを交え、1曲ずつ解説しました。

江戸一明治 連続する歴史

別冊環23

人間科学部 准教授 平野哲也



浪川健治・古家信平 編 2018年1月
藤原書店

歴史学・民俗学・歴史地理学の協業によって、ローカルとグローバルを意識しつつ、江戸時代から明治時代までを見直し、人と地域の「連続する歴史」のうねりを捉えた論集です。

日本語教師の成長

ライフストーリーからみる
教育実践の立場の変化

人間科学部 准教授 飯野令子



飯野令子 著 2017年12月
ココ出版

外国人に日本語を教える日本語教師は世界中で活躍しています。本書ではヨーロッパで活躍する5名の日本語教師のライフストーリーから、教師としての成長を読み解きました。

コア・イメージで英語感覚 を磨く! 基本語指導ガイド

中学校英語サポートBOOKS

人間科学部 助教 森本俊



森本俊 著 2017年12月
明治図書出版

主に中学・高等学校教員を対象に、takeやmakeといった英語の基本動詞の意味と用法を、コア(核となる意味)とコア・イメージを用い、解説しました。自学用にもお薦めです。

Q 障害児心理学との出会いを教えてください。

A 障害のある子どもたちとふれあい、この子どもたちの未来に役立つ研究をしようと自分の進むべき道を決めました。

人の健康や幸せに貢献する仕事がしたいと考え、大学院時代ははじめ、遺伝子や細胞の研究をしていました。迷いが生じたのは20代後半。実験室で試験管を振るよりも、生きている人間にじかに向き合うことで自分が貢献できる分野があるのではないか——そう考えた私に、進むべき道を教えてくれたのは障害のある子どもたちでした。困難を抱えて生きる子どもとふれあい、この子どもたちが本来の自分を発揮できるよう、研究をしようと思ったのです。私が専門とするのは、読む、書く、聞く、推論するなどの能力に困難を伴う「学習障害(LD)」です。自閉症やADHDなどと並ぶ発達障害の一つですが、はた目からはわかりにくい傾向にあります。本人は頑張っているのになぜか成績が悪かったり、周囲に理解してもらえないなど、ひっそり一人で苦しんでいるケースも。今後、より周囲の理解やケアが必要とされる障害です。

Q 学習障害に関して先生が現在、取り組んでいる研究は？

A 日本学術振興会の挑戦的萌芽研究として幼児期から学童期における読み書き発達と、「形態素意識」の関連性を研究しています。

人間が読み書きを発達させるとき、音韻意識が重要なことが知られていますが、近年は形態素意識も注目されています。音韻意識とは「リンゴ」という単語を聞いたとき、「リ・ン・ゴ」と3つの音に分けられること。形態素意識は「リンゴを食べられた」と聞いたとき、「リンゴを・食べられ・た」と意味の最小単位を認識することで、全体の意味を把握するのに貢献します。私たちが行った調査では、小学校1、2年生では読み書きの発達に音韻意識が重要ですが、3年生ぐらいから中学校に上がる前には、形態素意識の役割が大きくなってきてきました。学習障害がある子どもの場合、この形態素意識の発達が遅れているケースがあると思われれますが、形態素意識が発達する時期や過程を明らかにすることで、学習障害がある子どもへの指導法の開発に応用できる可能性があると考えています。

Q 学習障害のある子どもへのケアの現状は？

A 周囲の大人が早い段階で気づき、早期療育やケアにつながれば、障害を乗り越えられる可能性が高まります。

学習障害は、脳機能の発達やネットワークの一部がうまく働かないことから起こると考えられています。ただ、幼いうちから障害に合わせた訓練や工夫を重ねていくことで、能力を補い、社会生活を送れるように方向づけすることもできるのです。そのためには、早期療育が最も重要です。周囲の人からはわかりにくい障害だけに、保育士や幼稚園教諭など子どもの発達のエキスパートが早い段階で気づき、親御さんにお伝えしたり、心理・教育の専門家に相談するなどして早期療育につなげる必要があります。人は生涯にわたって変化、発達し続けるという「生涯発達」の観点から、その子のペースに合わせた支援計画を考え、長い目で発達を支えていくのが教育者、保育者の役割だと考えています。

Q 先生が理想とするこれからの社会、教育のあり方は？

A それぞれの能力や興味を発揮して、自分の「ものさし」で幸せを感じられる社会を子どもの教育を通じて実現していきたい。

一人ひとりが自分の「ものさし」で幸せを決められる社会を実現していきたいなと思います。みんなが100点を目指さなくてもいいのです。“当たり前”や“普通”の型に押し込むのではなく、それぞれの能力や興味を発揮して生きることをお互いが尊ぶことができれば、もっとみんなが生きやすい世の中になると思います。今はまさにダイバーシティ(多様性)の時代です。将来、幼児教育・保育に携わる学生の皆さんは、子どもたちとの関わりを通じて、それを体現していく立場にあります。大学生活では、さまざまな人たちとのふれあいを通じて自分の世界を広げ、大きな心で子どもたちを見守る保育者となってほしいと思います。私も教育者、研究者、そして、地域の子どもの療育を支援する者として、子どもたちを応援していけたらと考えています。



多文化共生時代の英語教育

人間科学部 助教 森本俊



森本俊・佐藤芳明 編著 2017年12月 いづな書店

多文化共生時代における英語教育はどうあるべきかについて、21の章を通して議論しました。森本はカリキュラム・シラバス論やICTの活用を含めた6つの章を執筆。

国際法[第3版]

Next 教科書シリーズ

総合政策学部 教授 渡部茂己



渡部茂己・喜多義人 編 2018年1月 弘文堂

約74億人が共存している国際社会の法について、法源、国家(領域、国家責任)、海洋法、南極・宇宙、個人、地球環境、国際経済、国際裁判、安全保障を中心に最新の内容を概説。

自治体政策法務の理論と課題別実践

鈴木庸夫先生古稀記念

総合政策学部 准教授 吉田勉



北村喜宣、山口道昭、磯崎初仁、出石稔、田中孝男 編 2017年12月 第一法規

政策法務の牽引者として活動を続ける研究者が我が国の自治行政の課題解決を図るための法的・政策的的手法を政策法務の知恵と工夫から提案した実践的指南書です。

事例から学ぶ実践!自治体法務入門講座

総合政策学部 准教授 吉田勉



吉田勉 著 2018年4月 学陽書房

自治体業務への心構えから法務知識、実務能力、政策法務まで身につく本書。自治体職員のみならずこれを目指す学生、自治体行政に関心のある市民のための実践的なテキストです。

皆さまからのご意見大募集!

- ①印象に残った記事とその理由など
- ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆さまからのご意見・ご感想を
メールまたははがきでお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する
学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] kikaku@tokiwa.ac.jp

[はがき郵送先] 〒310-8585

茨城県水戸市見和1丁目430-1
学校法人常磐大学 総務課広報係



お寄せいただいた方の中から、
抽選で20名様に
常磐大学オリジナルグッズを
差し上げます。



常磐大学大学院
常磐大学
常磐短期大学



常磐大学高等学校
智学館中等教育学校
常磐大学幼稚園



<https://www.tokiwa.ac.jp/>



常磐大学は平成28年度大学評価の
結果、(公財)大学基準協会による大学基
準に適合していると認定されました。



常磐短期大学は平成26年度(一財)
短期大学基準協会による第三者評
価の結果、適格と認定されました。

寄付者ご芳名 (敬称略)

ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。
[2018年1月~4月受け付け分]

諸澤幸雄奨学金制度への募金	
個人	
504,000円	常磐大学2017年度卒業生一同
224,000円	常磐短期大学2017年度卒業生一同
4,000円	坂井 知志*
芳名のみ公表	江原 麻子* 齋藤 祐輔* 田邊 正*
累計金額 100,877,208円	

見和キャンパス開設50年施設整備事業募金	
法人・団体	
500,000円	(株)久信田観光*
100,000円	茨城トヨタ自動車(株)*
100,000円	辻武商事(株)
100,000円	富士通(株)*
10,000円	(株)メフォス茨城支店
10,000円	(株)チャイルド本社茨城営業所*
芳名のみ公表	(株)茨城毎日広告社 ウルノ商事(株)
個人	
40,000円	小柳 武*
40,000円	富田 恭平*
23,000円	中村 和彦*
20,000円	中崎 啓子*
芳名のみ公表	内田 和毅* 関 いづみ* 根本 知計* 久松 雄大* 横山 正和*
累計金額 11,445,760円	

受配者指定寄付金	
50,000円	(株)日本ドリコム

持続可能社会に向けた地域の環境づくり活動資金 (2018年度事業分)	
1,000,000円	(株)常陽銀行

●複数回お申し込みくださいました方は芳名に*を付しました。

寄付募集の詳細については、
ホームページでご覧いただけます。

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ
学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

[お電話で] **029-232-2554**
[メールで] kifu@tokiwa.ac.jp

Campus schedule

常磐大学&水戸ホーリーホック
コラボデー 2018

8/18(土)

18:00 KICK OFF ジェフユナイテッド千葉戦
於) ケーズデンキスタジアム

大学の学生がみんなで楽しめる企画を提案・運営するほか、高校の女子サッカー部によるエキシビジョンマッチ、吹奏楽演奏、高校・智学館によるダンス披露、幼稚園のエスコートキッズなど、みんなで試合会場を盛り上げます。



大学院

進学説明会

7/15(日)

大学・短大

オープンキャンパス

7/15(日)・8/4(土)・9/29(土)

高校

オープンスクール

7/23(月)~7/26(木)

体験入部

8/9(木)~8/10(金)

クラスマッチ

9/13(木)~9/14(金)

智学館

English Day

7/7(土)

オープンスクール

8/19(日)・9/8(土)

智学館カップ(体育祭)

9/15(土)

幼稚園

入園説明会・みんなで遊ぼう

7/12(木)・9/21(金)・10/12(金)

運動会

10/6(土) ※雨天時10/7(日)

諸澤幸雄奨学金 奨学生決定のお知らせ

2017年度	高等学校	Ⅱ種奨学生	1名
	智学館	I種奨学生	2名
2018年度	大学	I種奨学生	7名
		Ⅱ種奨学生	4名

学校法人常磐大学ローズヴィア水戸奨学金 奨学生決定のお知らせ

2017年度	ローズヴィア水戸奨学金 (介護職員初任者研修奨学金)	2名
2018年度	ローズヴィア水戸奨学金A	4名
	ローズヴィア水戸奨学金B	2名